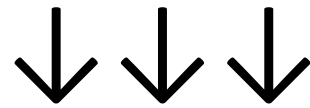




Truths Revealed about the First Three and a Half Years of the Ongoing TEPCO Nuclear Disaster

© Ryuichi HIROKAWA

- (1) Distorted reporting of the Nuclear Power Plant (NPP) accident
- (2) Distortion of the original information released



- (3) Suggestions, from the receiving end of the information, for approaches to undo the distortion

- (1) Distorted reporting of the NPP accident
- (2) Distortion of the original information released



- (3) Suggestions, from the receiving end of the information, for approaches to undo the distortion

(1) Distorted reporting of the NPP accident

① Sponsor issues

② Pressure from the government

⇒ voluntary restraint

③ Unknowledgeable reporters

(1)—① Sponsor issues

In Japan, electric companies exert a control over the media.

Oshidori's actual experiences:

- Pressure from Denjiren (Federation of Electric Power Companies)
- Pressure from advertising agencies (Dentsu, Hakuhodo, etc.)
 - Pressure from local electric companies

(1)―② Pressure from the Japanese government

http://www.env.go.jp/chemi/rhm/hodo_1403-1.html

環境省>保健・化学物質対策>放射線健康管理

最近の甲状腺検査をめぐる報道について

平成26年3月

環境省総合環境政策局環境保健部

平成26年3月11日(火)に放映されたTV朝日の番組「報道ステーション」において、福島県「県民健康管理調査」のうち甲状腺検査(以下単に「甲状腺検査」とします。)について報道がなされましたが、事実関係に誤解を生ずるおそれもあるので、環境省としての見解を以下のようにお示いたします。

1. 甲状腺検査の結果と福島第一原子力発電所事故との因果関係について

- 甲状腺検査をきっかけに甲状腺がんと診断された方について、世界保健機関(WHO)や国連科学委員会(UNSCEAR(アンスケア))等の国際機関や、平成26年2月に環境省等が開催した「放射線と甲状腺がんに関する国際ワークショップ」に参加した国内外の専門家からは「原発事故によるものとは考えにくい」とされています。
- その理由としては、
 - ・ これまでに行った調査によると原発周辺地域の子どもの甲状腺被ばく線量は総じて少ないこと(後述)、
 - ・ がんが見つかった方の事故時の年齢は、放射線に対する感受性が高いとされる幼児期でなく、既知の知見と同様、10歳代に多く見られたこと、
 - ・ 甲状腺がんの頻度については、限られた数ではあるが、無症状の子どもに甲状腺検査を実施した過去の例でも同じような頻度で見ついていること(注)、

等があげられており、本報道で中心的に示された、小児甲状腺がんの潜伏期は最短でも4～5年と言われていることのみを持って判断がなされているわけではありません。

(1)—② Pressure from the Japanese government



Kitaibaraki City Hall, July 18, 2013



(1)—② Pressure from the Japanese government

Act on the Protection of Specially Designated Secrets

(1)—③ Unknowledgeable reporters

TEPCO Headquarter,
September 10, 2011



TEPCO Headquarter, September 10, 2011



(1)—③ Unknowledgeable reporters

TEPCO Headquarter,
April 14, 2014



TEPCO Headquarter, November 17, 2014



- (1) Distorted reporting of the NPP accident
- (2) Distortion of the original information released**



- (3) Suggestions, from the receiving end of the information, for approaches to undo the distortion

(2) Distortion of the original information released

① Information released at press conferences is different from facts, or facts are hidden.

② Voluntary restraint on information.

③ Information with hidden agenda disseminated.

(2) — ① Distortion of information in press releases

個人情報詳細表示 - 原子力入構者管理システム - Microsoft Internet Explorer

個人情報詳細表示 - いま福島第一原子力発電所の仕事をしています

利用者: 染森 信也 サイト: 本店福島第一安定化センターJヴィレッジ運営部医療支援グループ

個人番号	GN管理番号	中央登録番号	顔写真
氏名(漢字)	染森 信也		
氏名(カナ)	ソメモリ シンヤ		
生年月日		性別 男	
日本人・外国人区分	日本人	国籍 JPN: 日本	
現住所(住民票)			
現住所(居住地)			
企業系列	東京電力株式会社		
企業/組織	本店福島第一安定化センターJヴィレッジ運営部医療支援グループ		
主管/作業主管グループ	本店福島第一安定化センターJヴィレッジ運営部医療支援グループ		
社員番号			
登録区分	構内	指定施設 福島第一原子力発電所	
入所区分	防護区域を除く発電所構内	従事者区分 従事者(規制法)	
カード区分	作業者証	許可証有効期限日 2016/03/31	
電磁健診	実施済・良: 2012/02/21		
防護教育	a教育	実施 2012/02/10 (平成24年2月10日)	

本人確認書類

- 未登録 -

セッション切れ所まで59分58秒の見込みです。

CAPS KANA トラネット

(2)—① Distortion of information in press releases



(2)—① Distortion of information in press releases

TEPCO press release

- No relationship between work and illness
- Work at Fukushima Daiichi NPP limited to 6 months only

Facts gathered

- Worked at Fukushima Daiichi NPP in both 2011 and 2012
 - Also participated in decontamination work
 - Exposure dose of 80 mSv
 - Aortic aneurysm

(2)ー② Voluntary restraint on information

関係試験研究機関
大 学 等
関 係 学 協 会

調中

事 務 連 絡
平成23年5月16日

文部科学省研究振興局ライフサイエンス課
厚生労働省大臣官房厚生科学課

被災地で実施される調査・研究について

今般の東日本大震災による被災地域において、被災者に対する様々な健康調査・研究が実施されているが、これらの健康調査・研究の中には、倫理的配慮を欠き、被災者にとって大きな負担となっているものがある、自治体との調整が十分図られていないもの等が見受けられ、関係学会等からも問題提起がなされているところである。

については、被災地における被災者を対象とした健康調査・研究を実施する場合には、下記について遵守されるよう留意されたい。

記

- 「疫学研究に関する倫理指針（以下、疫学指針）」が適用される疫学研究を実施する場合等においては、疫学指針等にとり、当該研究計画について、倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長による許可を得るなど、適切な対応を行うこと。
- 被災者を対象とする調査・研究は、当該被災地の自治体と十分調整した上で実施すること。また、調査・研究の結果、必要と考えられる被災者には、適切な保健医療福祉サービスが提供される体制を整備する等配慮すること。

- 対象となる被災者に過度な負担とならないよう、対象地域において行われている調査・研究の状況を十分に把握した上で、重複を避け、必要以上に詳細な調査・研究が行われることのないように配慮すること。

【照会先】

文部科学省研究振興局ライフサイエンス課

担当：佐藤、前田、岩田

電話：03-5253-4111（4394,4108）

厚生労働省大臣官房厚生科学課

担当：眞鍋、古元、丹藤、田中

電話：03-5253-1111（3807,3813）

（参考）

- ・ [文部科学省（ライフサイエンスの広場）](#)
- ・ [厚生労働省（医学研究に関する指針一覧）](#)
- ・ [社団法人日本精神神経学会（東日本大震災被災地における調査・研究に関する緊急声明文）](#)

Regarding surveys and studies conducted in the disaster affected areas:

- May 16, 2011
- “When conducting *health surveys and studies on disaster victims in the disaster affected areas,*”
- “...*avoid duplicate work and be considerate so as not to conduct more detailed surveys and studies than necessary.*”

(2)―② Voluntary restraint on information

(別紙)



23 総合第 46 号

平成 23 年 4 月 5 日

別記食品小売業関係団体の代表者 宛て

農林水産省総合食料局流通課長

市町村単位等県を分割した区域ごとに行う出荷制限等への対応について（協力依頼）

日頃より、食品流通行政につきまして、御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、東京電力福島第一原子力発電所事故（以下「福島原子力発電所事故」という。）に関連して、3月21日以降、県域単位で野菜等の出荷制限・摂取制限（以下「出荷制限等」という。）の指示が行われてきましたが、4月4日、原子力災害対策本部において、野菜等の出荷制限等の設定・解除の対象区域については、汚染区域の広がりや集荷実態等を踏まえ、市町村単位等県を分割した区域毎に行うことも可能とされました。

これを受け、同日、原子力災害対策本部長から、千葉県知事に対して、①香取市及び多古町において産出されたホウレンソウ、②旭市において産出されたホウレンソウ、チンゲンサイ、シュンギク、サンチュ、セルリー及びパセリを対象に、出荷制限の指示が行われたところであります。

農林水産省といたしましては、これまで福島原子力発電所事故を踏まえ、生鮮食料品等の円滑な流通・消費に資する観点から、食品流通関係団体に対して、随時、放射性物質の検査結果や出荷制限等に関する情報をお知らせしてきたところであります。

つきましては、今回の出荷制限の指示を含めて今後、市町村単位等県を分割した区域毎に、野菜等の出荷制限等の設定・解除の指示が行われることが考えられますので、消費者が科学的・客観的な根拠に基づいて適切に対処していただけるよう、野菜等の販売時における産地名の揭示等について、御配慮をお願いいたします。

なお、このことを貴団体の会員企業に対し、御周知いただくよう、よろしくお願いいたします。

別 記

財団法人食品流通構造改善促進機構

財団法人食料農商交流協会

全国水産物商業協同組合連合会

全国青果物商業協同組合連合会

日本果物商業協同組合連合会

全国小売市場総連合会

社団法人新日本スーパーマーケット協会

社団法人日本ショッピングセンター協会

社団法人日本フランチャイズチェーン協会

社団法人日本ボランタリー・チェーン協会

日本スーパーマーケット協会

日本小売業協会

日本百貨店協会

日本チェーンストア協会

協同組合セルコチェーン

全日食チェーン商業協同組合連合会

無添加食品販売協同組合

オール日本スーパーマーケット協会

日本生活協同組合連合会

日本チェーンドラッグストア協会

株式会社八社会

Addressed to representatives of food retailing groups:

*“Please **take consideration in regards to such matters as labeling of origins** when selling vegetables, etc. so that consumers will be able to make decisions on a scientific and objective basis.”*

Data on radiation testing of food by GREENPEACE (April 2011)

TOTAL ACTIVITY ANALYSIS RESULTS FOOD & SOIL SAMPLES FUKUSHIMA AREA



福島県北西部における野菜および土壌の放射線量調査データ

Sample name サンプル名	Date 日付 (年/月/日)	Time 時間	Location description 測定場所	Sample type サンプル種類	Act in uSv/h at location 測定地点の線量 (uSv/h)	Act in uSv/h at location 測定地点の線量 (uSv/h)	Act in uSv/h on sample サンプルの線量 (uSv/h)	Density (g/L) 密度(g/L)	Activity (Bq/kg) 測定値(Bq/kg)*	Error (Bq/kg) 誤差 (Bq/kg)	Comments
					(at 1 m)	(at 10 cm)	(background 0.16uSv/h)				
V1-20110404 (grinded)	2011/4/4	18:05	南相馬の野菜畑1	白菜	2	2.7	0.32	810	8790	270	
V2-20110404 (leaves)	2011/4/4	18:10	南相馬の野菜畑2	ほうれん草	1.6	1.88	0.35	375	40240	2540	
V2-20110404 (grinded)	2011/4/4	18:15	南相馬の野菜畑2	ほうれん草	1.6	1.88	0.35	400	43485	3050	
S1-20110404	2011/4/4	18:30	南相馬の野菜畑2	土壌	1.88	2.4	0.29	1200	18625	1480	
V1-20110406	2011/6/4	13:05	福島市郊外の小規模の野菜畑	からし菜	1.66	2.13	0.25	417	19940	765	
V3-20110406	2011/6/4	13:20	福島市郊外の小規模の野菜畑	ほうれん草	1.88	2	0.48	270	152340	18455	
V2-20110406	2011/6/4	13:15	福島市郊外の小規模の野菜畑	小松菜	1.66	2.07	0.33	211	73775	4585	
V4-20110406	2011/6/4	13:25	福島市郊外の小規模の野菜畑	ニラ	1.66	2.07	0.25	304	20295	950	
V5-20110406	2011/6/4	13:30	福島市郊外の小規模の野菜畑	ブロッコリ	1.66	2.11	0.2	186	16180	845	
S1-20110406	2011/6/4	13:40	福島市郊外の小規模の野菜畑	土壌	1.66	1.46	0.28	1076	17910	1155	Surface soil down to 5cm
V6-20110406 (spring onion 1)	2011/6/4	16:00	福島市の直売所	ネギ	1		0.21	433	3405	180	Local food (farmer 1)
V6-20110406 (spring onion 2)	2011/6/4	16:00	福島市の直売所	ネギ	1		0.22	581	1840	130	Local food (farmer 2)
S1-20110407	2011/7/4	12:30	福島市北東部の伊達市保原町近くの水田	土壌	2.74	6.11	0.28	787	55145	7795	
S2-20110407-I	2011/7/4	15:50	飯館村北部の水田	土壌	6.92	9.78	0.26	1360	30650	6455	10x10cm, 3cm layers. Top wet soil
S2-20110407-II	2011/7/4	15:50	飯館村北部の水田	土壌	6.92		0.25	1028	10195	405	10x10cm, 3cm layers. Wet soil
S2-20110407-III	2011/7/4	15:50	飯館村北部の水田	土壌	6.92		0.16	1103	1450	75	10x10cm, 3cm layers. Wet soil
V1-20110407	2011/7/4	17:40	福島市のスーパーマーケットで購入した伊達市月形町産	ニラ			0.15	410	620	225	
V2-20110407	2011/7/4	17:40	福島市のスーパーマーケットで購入した茨城県産	キャベツ			0.14	508	830	85	
V3-20110407	2011/7/4	17:40	福島市のスーパーマーケットで購入した福島県産	ビワバ			0.14	409	190	85	
V4-20110407	2011/7/4	17:00	福島県田代町船引町の有機栽培農家	小松菜	0.37		0.27	303	23215	800	
V5-20110407	2011/7/4	17:00	福島県田代町船引町の有機栽培農家	有機野菜	0.37		0.28	252	35600	995	
V1-20110408	2011/8/4	16:00	郡山市北西部約10キロの本宮町の小規模農家	ブロッコリ	3.2		0.27	428	18845	545	
V2-20110408	2011/8/4	16:00	郡山市北西部約11キロの本宮町の小規模農家	カリフラワー	3.2		0.36	469	25160	1175	
S1-20110408	2011/8/4	16:00	郡山市北西部約12キロの本宮町の小規模農家	土壌	3.2		0.26	1110	32980	3680	Top soil next to broccoli
S2-20110408	2011/8/4	16:00	郡山市の北西部約10キロの小規模農家	土壌	3.4	8.2	1.5 - 3.7	No readings, as maximum limit measurement was exceeded.			Top soil in dry drainage

* 測定値は放射線物質の数量、放射性核種の特定はしていません。

(2)—③ Information with hidden agenda disseminated



OECD／NEA (Organisation for Economic Co-operation and Development / Nuclear Energy Agency)

Fukushima residents

“Value system to love one’s own land.”

⇒ Want to decontaminate with their own hands so that they can keep living there.

How to keep explaining risks to residents so that
NPPs can be promoted worldwide.

Important to inform the world how Fukushima
residents will “decontaminate and live there,”
accepting the risks of the NPP accident.

Presentation by Ms. Ryoko Ando

« After the nuclear accident, raging voices over Fukushima left behind those of us who live in Fukushima. Everybody wanted to have their say disregarding what we think and feel. I could not accept that. I even felt angry. The reason why I started ETHOS in Fukushima comes from the conviction that it is we who should narrate our life. In the midst of the turmoil, ICRP111 was the only support for our mind ».

Ryoko Ando, Iwaki city

Leader of the Ethos in Fukushima NPO

ethos-fukushima.blogspot.com/

Diverse groups, diverse opinions.

“litate won’t be beaten” press conference
August 26 , 2011



Press conference after submission of “Request to Halt the Effort to Use Local Produce in School Lunches”
November 27, 2013



Various plaintiff's groups in lawsuits related to the NPP accident



Now,

is it possible to undo this

distortion in reporting

and

distortion in information?

- (1) Distorted reporting of the NPP accident
- (2) Distortion of the original information released



- (3) Suggestions, from the receiving end of the information, for approaches to undo the distortion

We are being treated with contempt.

In fact, we may not even be very clever!

運命の人

1997年12月

海軍は十四日、ツイッ
ーで（英立ちの準備だ）
と、艦船を港へおしこめ
て、乗船を許さしてゐた。
「シェワル・ド・ヴィオ」は十六日の
ツイッターで、マセナールの
の名目（通譯者直書は空想
の好戦中に困難を見つづけるが、華羅王義者は全ても
困難の中に好戦を見いだす」という言葉を英文で引
出し、説明を付ねていま

「調度は材料でせよ。よう
きもきもが不可解な結婚で
した。ロシアでその調度で
出てから約五ヶ月のメ
ビエナでした。相手は
「自然、健康」という。は
は無名の人。結婚式は
は親族も呼ばず日本の地
主客もない。生計的な結
婚生活もほとんどなかつ
た」(『三銃士』リトルス)

二人は昨年一月一日、

「このデューカン制は、オベ・デュカンの世情詩人社会の連綿に類した。私腹民にも通じた表裏だ。自分の影響力が著しく高まっていたのを知り、相当な力に達したと、これまでにない高みで躍り、マスコミの彼で躍々と頭を下げたのです」(三浦信孝)

だが以降も、宇野浩樹の意気はなほ、陸軍の純白を

元 刑務所付
聞いた飽

仲間が
くなく逃走心

149

スピード離婚
浜崎あゆみ 実は
入籍していなかった！

（本報）駐米新聞記者の報告によれば、非難を浴びたこの月曜日にアメリカにて総務の事務を執ります事と二報告されて居ります。

一月十六日現在、会長のファレンクラフザイトと密に交渉して其の調停を求め（日）二億半のオーストラリア人、マニウエル・シュワルツ氏とは、わすか一年の結婚生活だった。

「（東）日本大興業を受け、自分の中に「日本を離れたい」という気持ちが続く。学生さん、アメリカでの生活も楽しめられなくなった。そしてとうとう日本が敵国となりました。」

[illegible]

り表わした。結果は、
と見られていた。一瞬間
きにある音楽関係者お
らは、こんな価値観を
「異端」、白人のイタリ
好き、自分の身長の高さ
コンプレックスがあり、白
人との間に子供を作りた
ったというのです。シム
ルと其とのすれ違い、結
核生活に無罪であった
でせう。彼は故に異端に

は外国人の「悪人」がいる
という話もあるのだぞ」
だが、エペベオスは悪
悪人の存在についてはさ
さといった事実はござい
ふ一と否定。現在、真崎は
まるで取材姿勢を揺るが
ないように、海外に滞在し
ているというが、また、電
再訪、する日も近いワ

何以堪其痛？

元 刑務所仲間が
聞いた飽くなき逃走心

100



勝浦地区東電設備 1/10以内
高津地区東電設備 1/10以内

東電会見は「**二転三転**」
おしどりマコ

「私の主治で、病室に連日おられるようなら、もう引退しようかな」と言っている。陽子に名前を使っていた院長は直談判したい。

「へ、すべて私が勝手にやっ
こです。上流者の秘妙
は私が書いたもので上流
には見えないようにしつ
た。上流者は上流の私に
あらず、知つていても思
ひなかつたのだと思ひ

す、上沼さんの事務所内
ま、土す庫して運びました
吾輩は十二月末でこの
院を去り、いまは東京の
病院で働いているという
静菜の独立開業が夢だと
うが、その際には安さ
の名義を使つたのだとす

[illegible]

牧草の性質は、三八七湖
者の性質は、
は、
性、
組、
設、
午、
出、
身、
時、
た、
て、
心、
な、
さ、

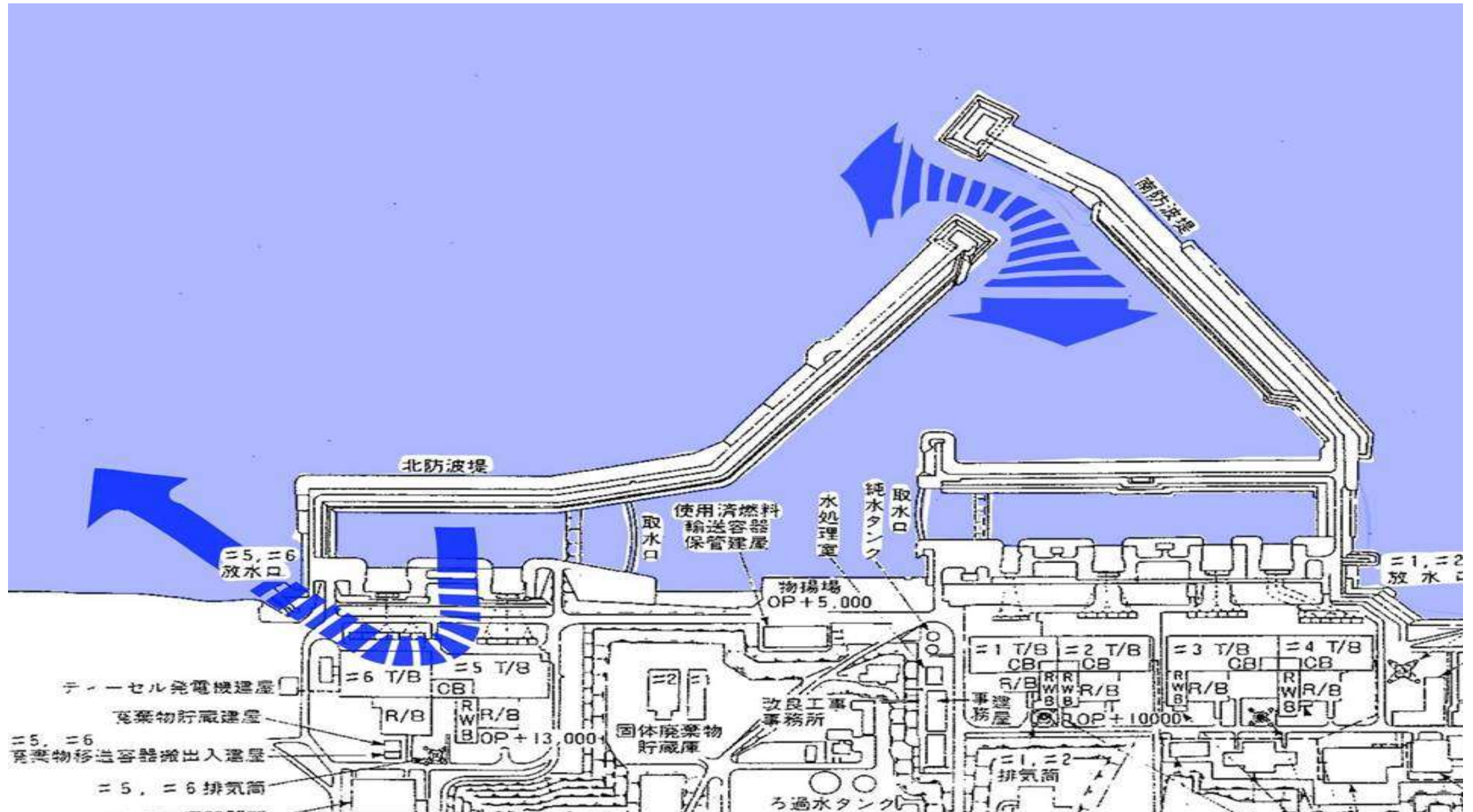
[illegible][illegible]

● 本誌の編集に当たってを語る際に、必ず読むべき



在瑞士都一学三月十七日拜

PM Abe: “Contaminated water is completely blocked.”



The exposed
have the right to know
the facts.